

会長就任挨拶

全日本中学校長会会長 三田村 裕



ただ今、全日本中学校長会第四代会長として、御承認いただきました東京都八王子市立第七中学校長の三田村裕でございます。新役員を代表いたしまして一言、御挨拶申し上げます。

本日ここに、皆様のご御承認をいただき、大役を仰せつかりましたことは、身に余る光栄でございます。微力ではございますが、全国の公立中学校長によって構成される本会の目的を達成するため、全力で責務を果たしてまいる所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

この一年間、全日本中学校長会のために御尽力いただきました三田村裕を会長をはじめ、副会長、理事、そして幹事の皆様、お疲れ様でございました。本当にありがとうございます。

全日本中学校長会の目的は、「中学校の振興を図り、国家社会の発展に寄与すること」にあります。その至高な目的を達成するため「全国都道府県中学校長会相互が緊密な協調を確保」ことが重要です。会則第二条に明記されたこのことの実現に向け、今後、新役員一同、尽力してまいります。是非とも全ての会員の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

ここで、全日本中学校長会として取り組んでまいる重点を三
点述べさせていただきます。
一点目は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学び
の保障です。

五月十四日に三九の県で緊急事態宣言が解除され、既にか
りの数の学校が、授業等の教育活動を再開させました。また、
現在臨時休業中である学校も再開を想定した準備を進めていま
す。これまでの二か月以上にわたる臨時休業期間、いまだかつて
経験したことがない事態に対し、私たちの誰もが、中学校教
育のため、具体的に言えば、一人一人の生徒のためによりよい
答えを求め日々模索してきました。そんな私たちにとつて、生
徒が学校に戻ってくる学校再開は大きな希望と言えます。しか
しそれは同時に、新型コロナウイルス感染症とともに生きてい
かなければならないという認識に立ちつつ、感染症対策を講じ
ながら生徒の健やかな学びを保障するという新たな、そして大
きな課題への模索の始まりでもあります。

生徒と教職員の健康と安全を守るためにどのような感染症対
策を具体的に講じるか、生徒に学びを保障するため、限られた
期間で実効を上げる効率的かつ効果的な教育課程をいかに再編
成するか、人との関わり方の極端な減少や生活習慣の変化等の影
響により、心身の状態に変化の生じた生徒をいかに把握し支援
していくかなど、迅速に取り組まねばならない課題は多々あり
ます。しかし、生徒一人一人の顔を思い浮かべたとき、それら
の課題への取組は私たち校長の意欲へと変わります。

全国の公立中学校が、感染症対策を講じながら生徒の健やか
な学びを保障する場であること、これは全日本中学校長会の当
面の最重要課題です。この認識の下、全国九、〇〇〇人以上の
校長の睿智を結集すること、そして難局を乗り越えるために行政
とも緊密に連携していくことに全力で取り組んでまいります。
二点目は、「全日中新教育ビジョン」の推進です。

来年度は新学習指導要領が全面実施となる年度です。情報化やグローバル化といった社会変化が急速に進む予測困難な時代にあっても、変化に対し主体的に向き合って関わり合い、自らの可能性を発揮して未来社会を創り出す人間であってほしい。新学習指導要領に託されたこの願いは、社会の願いでもあり、こうした人間を育成することが私たちの目標であることに疑いを挟む余地はありません。この願いに応え私たちの目標を実現するため、教科横断的な視点に立ち社会に開かれた教育課程を編成し、カリキュラム・マネジメントにより学びの質の向上を図ること、全ての学習の基盤となる言語能力や情報活用能力や現代的な諸課題に対する対応力を育成することに私たちは全力で取り組んでいきます。しかし、創意工夫をもって取り組むためには、その担い手である教員に十分な時間的かつ精神的なゆとりが不可欠です。勤務時間管理の徹底、学校が担う業務の明確化・適正化、学校の組織運営体制の在り方等の働き方改革を、教員の意識改革とともに確実に推進していかなければなりません。後に提案いたしますが、平成二十一年に提示・公表し、その後二度の改訂を行った「全日中教育ビジョン」を継承しつつ、新時代に対応しうるよう新たな「全日中新教育ビジョン」を策定いたしました。ここには、校長が、自らの言葉で自身のビジョンを学校内外に伝える際の一つの指針となるよう、取組の方向と10の提言を示しております。新学習指導要領の実施や学校における働き方改革を含め、生徒に未来をつくる力を身に付けさせるために知・徳・体をバランスよく育むことを意図して策定された「全日中新教育ビジョン」が、全国の中学校に普及・浸透することが我が国の中学校教育の振興を図り、ひいては国家社会の発展に寄与するとの思いで、その推進に努めてまいります。三点目は、全国各都道府県中学校長会相互の緊密な協調の一層の推進です。

これまで述べてきた二点の取組を確実にを行うためには、全国

の中学校長同士、あるいは各中学校長会と全日中との緊密な連携と協調が不可欠です。

特に新型コロナウイルス感染症に関連する諸課題については、あるいは今のこの事態をきっかけに最近にわかに論議されるようになった九月入学については、行政機関等から全日中に意見を求められることがあるでしょう。また、全日中から行政機関等に学校現場の状況を伝えたり働きかけを行ったりする必要も今後生じてくるでしょう。こうしたときに全日中が適切に対応するためには、九、〇〇を超える全国の中学校の現状を的確に把握しなければなりません。と同時に、全日中の取組が、全国の校長先生お一人一人に確実に届けられる必要があります。これを実現するためには、市区町村校長会と都道府県校長会との、また、都道府県校長会と全日本中学校長会との協調が不可欠です。そしてこの双方向性のある協調こそが、先ほど申し上げた「全国九、〇〇〇人以上の校長の叡智を結集すること、そして難局を乗り越えるために行政とも緊密に連携していくこと」の具体的な姿です。

市区町村等の単位の校長会においてはこと細かに共有されている一校一校の現状や課題、あるいは対応策などについての具体的な話が、そのまま各都道府県の校長会に伝わり、さらに全日本中学校長会にもたらされるよう、また、全日中の取組が迅速に全国の各中学校に伝わるよう、そしてそのことで各地域や各校の課題を全日中として解決できるよう、各都道府県の理事の皆様のお力を借りながら、双方方向性のある情報や意思の伝達・共有の実現に全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、本会の充実に向け、これまでの歴代会長はじめ諸先輩方が築かれ継承されてきたことを受け継ぎ、「実践もあり理論もある有言実行の教育の実践的専門家集団」としての役割を果たすため、皆様と共に歩んでいくことをお誓い申し上げます。新役員代表としての会長の挨拶といたします。